



紙漉きをする児童

拳ノ川小学校5・6年生が卒業証書作成

11月1日(月)、拳ノ川小学校の5、6年生が若山楮和紙工房で卒業証書などの作成を行いました。

5年生2名、6年生3名の計5名で行い、6年生は卒業証書、5年生は花や葉で彩った和紙を作成しました。

卒業証書を作成した6年生の森稟花さんは、「道具が重くて大変だったけど、上手くできて良かった。良い思い出になった」と話しました。

紙漉き職人である中嶋久美子さんは、「自分たちの手で卒業証書を作成できると子どもたちが喜んでくれるのが嬉しい。これからも続けていきたい」と話しました。

柚子の収穫作業・搾汁作業

集落活動センター佐賀北部で12年前から栽培している柚子の収穫が今年も10月29日(金)から行われました。

春に花が咲き、夏ごろから実がなるとい同センターの柚子は、柚子部会のメンバーと地域住民3〜4人で250本の木から4日間かけて刈り取られました。

収穫された柚子は11月2日(火)から搾汁作業が始まり、果汁として高知アイスなど各方面へ出荷されるということです。

同センターの大石正幸会長は、「今年は昨年の半分くらいの量だったが、なんとか収穫できた。自分たちの世代でこの活動が終わらないように、後継者作りも頑張りたい」と話しました。



柚子の収穫を行う大石会長

11月2日(火)には、高知大学の学生により搾汁作業が行われました。

第25回スピリットアート大方生華園から入賞入選

第25回スピリットアート(高知県障害者美術展)に大方生華園から26名の作品が入賞入選し、10月8日(金)から10月17日(日)にかけて高知県立美術館で展示されました。

同美術展は年に1度の開催。大方生華園は第16回から参加し、これまでの特選9名、褒状13名という好成績を残しています。

大方生華園では、毎日午前・午後の2回、日課として字や絵を書いたり、手芸をする時間があり、その時間に作成したものを作品として展示しています。

今回書道部門で入選した池史人さんは、「入選できたと話しました。」

大方生華園でスピリットアートの指導をしている金子由美さんは「個性をくさず引き出して、訴えるものを大事にしている。この活動を皆さんにも広く知ってもらいたい」と話しました。



ピオスおおがた情報館に展示された入選作品

らものを大事にしている。この活動を皆さんにも広く知ってもらいたい」と話しました。



日課を行う入所者

入野踏切で事故防止訓練

土佐くろしお鉄道(株)が11月1日(月)、入野踏切で「踏切事故防止キャンペーン」の訓練を行いました。約50人が参加しました。

訓練には、中村警察署、四万十自動車学校、四国運輸局、また入野小学校の2年生25名も参加。

開始式の後、車両で踏切内に閉じ込められた際の脱出方法や、踏切の上げ方、踏切内での危険を列車へ知らせる踏切支障報知装置や発炎筒の使い方方を訓練しました。

同社の岩合佳孝鉄道部長は、「子どもたちには、家に帰って親にも話してもらい、注意喚起ができれば」と話しました。また、入野小学校の渕本一舞さんは、「これからお母さんにも話して、列車が来ても大丈夫なようにしたい」と話しました。



踏切を手で押し上げる子どもたち

ても大丈夫なようにしたい」と話しました。